

令和4年度 「年度末学校関係者評価」(外部評価)

	項目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見(外部評価者からの指摘を基に記載)
教育環境の 充実	①学校安全の推進	①防災について放課後のふれスクでも学校と連携して考えていきたい。避難所運営についても子どもの居場所を作っていってほしい。
	②教育情報化の推進	②デジタル化しすぎると、学校の意義がなくなってしまう。それにデジタルで出しても、皆がきちんと読んでいるかという、そうでもない。そこが課題。
	③地域との協働推進	②デジタル化は発展していくだろう。この子たちが社会に出たときにどうなっているかを思って教育に当たる必要がある。
	④学校評価を生かした学校づくり	③逗子市PTA連絡協議会も、コミュニティ・スクールの構想を市に働きかけていこうと考えている。学校・保護者・地域が三点倒立のように手を取り合ってやっていきたい、要望を学校が発信してほしい。豊かにできるようサポートしていきたい。
I 学習指導の 充実	①授業改善の推進	①教科担任制と交換授業は違う。教担任は専門性をもっている人が入ってくる可能性がある。その意識をもたないといけない。
	②健康体力づくりの推進	①先生方の実践している工夫をどういう風に共有していくかが成果と課題。先生同士の交流をどうしていくのか考えるとよい。よい取り組みを皆で引き出し合いながら学校をつくっていくとよい。
	③体験活動の充実	③地域のメンバーも高齢になってきて、子どもたちの体験活動のために声をかけても集るのが難しい。次世代へ引き継いでいきたい。
	④今日的課題への取組	
II 支援の充実	①支援環境の充実	①鬼ごっこの約束が教室に掲示してあるクラスがあった。ふれあいスクールでも同じルールで遊んでいるのに気づいた。学校のルールが、ふれスクや生活に生きていることを感じた。
	②安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	①教科担任制は、複数の先生目で子どもを見ていくことができるのが良い。
	③問題行動対策・不登校対策の推進	②個人情報保護があるため、子どもがなにげなく話す家の状況をどこまで学校に伝えてよいか難しい。共有できればことが大きくなる前に解決できることがあるかもしれない。
	④幼・保・小及び小・中の連携推進	③子どもと子育ての諸問題の研修を民生委員として受けた。増えているいじめや不登校も、民生委員・地域・学校の連携で減らしていくことができるかもしれない。学校行事への参加、授業参観などへの参加も声をかけていきたい。
		③いじめは犯罪として報告しないといけない。境目が難しく、それが課題。細かいところまで見ていかないといけない。また「発達障害」で済ませてしまう風潮がある。「発達障害」という言葉の使い方にも気をつける必要がある。

Ⅲ 学校組織の 充実	①学校・学年・学級経 営の充実	③沼小のホームページがすばらしい。内容もわかりやすく よい。ホームページを保護者の意見に回答するような、双 方向なものにしたらもっとフレンドリーになる。保護者と の信頼関係はそういうところで作られていくので、いじめ や不登校の対策にもつながっていく。 ④勤務時間（時間外勤務の時間）を一人ひとりに伝えるのは よい。自分の仕事への取り組みを見直すのに効果的だ。
	②研究・研修の充実	
	③信頼に基づいた指 導の推進	
	④働き方改革の推進	